

ミソラコネク트가、生成 AI ボット「Wisora」の導入で 社内問い合わせ対応を効率化

グループ内での AI 活用の知見共有し、 Slack 連携で社内問い合わせが約 7 割減少

株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO 玉川 憲)は、ソラコムグループの株式会社ミソラコネク트가(本社:東京都文京区、代表取締役社長 森田 暢達)が、社内の問い合わせ対応を効率化するため、生成 AI ボットサービス「Wisora(ウィソラ)」を導入したことをお知らせします。



ミソラコネク트가は、NTT ドコモ網を活用したフル MVNO としてモバイル通信サービス「M-Air」を提供しています。同社ではオペレーション部門が顧客向け業務と営業部門からの社内問い合わせの双方に対応しており、限られた人員体制での業務負荷が課題となっていました。

同社は、ソラコム自身が問い合わせ・営業支援業務で AI チャットボットを活用してきたノウハウをソリューション化した AI ボットサービス「Wisora」を導入しました。専任ではない部門担当者が自らボットの構築・設定を行い、Slack 連携により現場で「気軽に聞ける」環境を整備しました。業務マニュアルからシステム仕様書まで幅広い社内ドキュメントを学習させた結果、月あた

りの社内問い合わせ数は導入して半年後には約 7 割減少しました。人員を増やすことなくオペレーション部門の業務負荷を軽減し、本来注力すべき顧客向け業務へのリソース集中が可能になっています。

「Wisora は人に聞く感覚とほぼ変わらずに答えが返ってくるうえ、担当者だけで設定を完了できる手軽さがありました。導入後は”まず Wisora に聞く”という流れが自然に定着し、今では社内の良き相棒のような存在です。今後は社内ナレッジボットとしての精度をさらに高め、将来的には顧客向けサポートへの展開も見据えています」

株式会社ミソラコネク ト オペレーション部長 塚本 亮氏

ソラコムは、グループ全体で AI/IoT テクノロジーの活用を推進しており、ミソラコネク トにおいても AI を活用した業務効率化が進んでいます。

導入の詳細は事例ページをご覧ください。 <https://wisora.jp/case/misora-connect/>

生成 AI ボットサービス「Wisora」について

Wisora は、社内問い合わせ対応の効率化にとどまらず、企業内のナレッジ活用を促進し、業務の属人化解消や生産性向上に貢献するソリューションとして、さまざまな業界で導入が進んでいます。

主な特長・メリット

- **かんたん学習**: Web サイト URL の指定や PDF・Word ファイルをアップロードするだけで自動学習し、すぐにボットを構築可能
- **多彩な公開・連携**: Web サイトへのウィジェット設置、Slack・Microsoft Teams 連携、専用チャットページでの公開に対応
- **分析と改善**: 会話ログやフィードバックで精度を継続的に改善。Pro プランでは AI による自動精度判定も提供
- **柔軟なカスタマイズ**: 話し方やデザインを自由に設定し、複数ボットを用途に合わせて管理可能

機能の詳細はウェブサイトをご確認ください。

<https://wisora.jp/>

*お客様のデータや学習したモデルは、セキュリティや安全性について十分に配慮し、他のサービスに二次利用することはありません。

*「Microsoft Teams」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

*「Slack」は、Slack Technologies, LLC の商標または登録商標です。

ミソラコネクトについて

ミソラコネクトは、法人向け大容量通信、IoT/M2M 向け低容量通信、プリペイド利用まで幅広く提供する通信サービス企業です。モバイルワーカー向けや短期・スポット利用、MVNO 事業支援にも対応し、信頼と技術を基盤に、安心してシームレスなつながりで多様な業務課題の解決を支えます。導入時の技術相談や構成検討にも応え、企業の通信活用を力強く支えます。

コーポレートサイト <https://misora-connect.com/>

ソラコムについて

AI/IoT プラットフォーム SORACOM は、世界200以上の国と地域でつながる IoT 通信を軸に、IoT を活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業 DX から、イノベーティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

コーポレートサイト <https://soracom.com>

<本ニュースに関するお問い合わせ>

株式会社ソラコム 広報 田淵
pr@soracom.jp